



仙台正教会  
教会だより

2024年  
1月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇

TEL 〇二二二二五二七四四

FAX 〇二二二四一三〇八〇

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

昔シナイ山に於て石板を書ししハリストス神よ、爾、  
親ら今も身を以てナザレトの邑に在りて、預言の書  
を受けて之を読み、之を掩いて、人々に爾の事を録せる  
書の應いしを教え給えり。 —新年の奉事・晩課—

## 敬頌新禧

正教会では、新年祈祷の福音としてルカによる福音書4章16節から21節が読まれる。ある安息日に会堂で行われていた祈祷に参拝したイエスが、預言者イサイヤの巻物をわたされ、開いて読み上げ、巻物を閉じ(掩い)、そしてその聖句が、今、成就したと説かれた箇所である。イエスは、単なる人間ではなく「神が人となったお方」である。つまり、昔モイセイに十戒を刻んだ石版を授与した神が、今人として神の言葉(イサイヤの預言)を人々に語りかけたのである。

「主の神<sup>しん</sup>、我に在り、蓋、彼は我に膏<sup>あぶら</sup>して、貧しき者に福音せしめ、  
我を遣<sup>つかわ</sup>して、心の傷める者を医<sup>いや</sup>し、…主の禧<sup>よろこばしきとし</sup>年を伝えしめたり」

この中に「主の禧年」という言葉がある。原語では「主に受け入れられる年」「主に喜んでもらえる年」というニュアンスがある。「禧」という漢字には「神から福を授かり喜び祝う事」という意味合いがある。今年一年も、神に喜ばれるような年になるよう、すなわち神の祝福があるよう、初詣に教会に来て新年祈祷に参拝しよう。(D)

## 「サキハフ」年に



長司祭 ダヴィド水口優明

「幸福(さいわい)」という言葉は、ある語源研究者によれば、「花が咲く」の「さく」から来ていて、もともと「サキハフ」と言っていたらしい。満開の花のイメージがあるという。「サキ」は「幸(サチ)」にも転化した。「盛り」も「栄え」も同じく「咲く」が語源とされている。

満開とはいかないまでも、たとえ一輪でもいいから、今年一年の間に「幸せの花」が「サキハフ」ことを願いたい。もちろん願い求める相手は、唯一の神・主である。今年も「主の祝福」を心から求めて「主、憐れめよ」と熱心に祈り続ける年にしよう。

「主の祝福こそ、信仰深い人の受ける報いなのだ。主は、幸せの花を、速やかに咲かせてくださる。」

(シラ書〔集会の書 11章 22節〕)

## 新年のご挨拶



執事長 アキラ 笹川 皓

救主のご聖誕と新春のお慶びを申し上げます。

昨年は皆様から多

大なご協力とご支援を受け、教会の様々な奉事や行事を行うことが出来、心から感謝申し上げます。今年もコロナ禍五類や様々な感染症の流行も心配されませんが、お互いに注意しながら仙台正教会のために、聖歌隊・婦人会・方舟会・信徒の方々の一層のご支援をお願い申し上げます。

現在、仙台正教会は勿論、東日本教区も抱え、様々な行事の中心になっております。行事予定も大分変わりますので、「教会だより」の執事会報告と行事予定をご覧になりましたら、参拝されますようお願い致します。

新春を迎え皆様のご健康・ご多幸をお祈り申し上げます。

## 方舟会より年頭の挨拶



方舟会会長 イサイヤ 木村浩大

救主のご降誕をお祝いし、あわせて新年のご挨拶を申し上げます。

方舟会では、昨年末に恒例のツリーの電飾かざりを実施しました。一部電飾部品の老朽化により、例年とは異なる飾りつけとなりましたが、みんなでいろいろ工夫し、例年以上の出来映えとなりました。

無事に飾りつけは終わったものの、会員の高齢化により、年々、高所作業の困難さを痛感します。今、方舟会の諸行事、「若手信徒の参加」が必要です。

ご都合のよい行事のみの参加で結構です。「男性信徒全員が方舟会の会員だ」と思っ、たくさんの方々のご奉仕をお待ちしております。そして、「みんなでご奉仕することの喜び」を分かち合いませんか。

謹んで新春のお祝い申し上げます

婦人会長 ナデジダ清水彩子



コロナ禍が収束するとともに、教会の奉事や行事も通常に戻りつつあります。昨年は教会に人が戻り奉仕活動にも活気が戻るのがひしひしと感ぜられ、まるで暗い夜からの夜明けを見るような一年となりました。

婦人会としては一丸となって、その新しい時代と新しい課題に柔軟に対応し、努力したいと思っております。「何もお手伝い(奉仕)出来ないから…」と仰って教会に足が向かなくなってしまうという方もいる、とお聞きします。ですが、「あなたを教会で見かけるのが嬉しいの、あなたはいるだけでいいの」と言われたご経験もあると思います。私達は心の中で必ず「あの人が今日来てる、嬉しい」と思っています。参拝するだけで私達の心を温める愛の奉仕です。皆で参拝して、仙台教会が地上の天国になるよう努力できればと思います。

聖歌隊として新年に思い立つこと

聖歌隊 ニコライ本多弘明



明けましておめでとうございます。ご承知のように、東アジア文化圏では今年が龍の年ということになっています。天空に現れるという瑞獣「龍(リュウ)」の存在を、大陸から伝え聞かされた古代の日本人は、その漢字に「たつ」という読みを与えました。それは目出たいものが現れることを「たつ」といって寿いだからです。例えば、虹が「立つ」というように。

ハリストスの洗礼による「現れ」としての「神現」を祝う気持ちと共通する感覚を、私達日本人も祖先から確かに受け継いでいると思います。聖歌隊は、今年もその神現祭から始まる十二大祭や諸奉事をお支えるため気持ち新たに思い「立つ」人々の群れであり続けたい。そう願っています。

図書案内

お求めは各自、書店やウエブサイトで

溢奏 ラフマニノフに聴く演奏の極意

弾くことの意味を求めるあなたへ贈る精神的な道しるべ

マトフェイ土田定克 編著

マトフェイ土田兄による新完本。論考、エッセイ、翻訳などで構成されており、音楽の演奏とは何かを横軸に、正教の精神性が縦軸に織り込まれている好著。付録のシリアの聖イサクとニコライ・メリニコフの翻譯は是非とも読んで欲しい。



発行 アルファベータブックス





11月22日(水)昆守兄宅を訪問し、廻家祈祷と平癒祈祷を行いました。



11月17日(金)仙台青葉消防署の立入調査が行われ、すべて良好との結果を得ました。



婦人会、方舟会、聖歌隊に対して、12月24日に降誕祭のお祝いが贈呈されました。



### 主の降誕祭

12月24日(日)、降誕祭前の主日聖体礼儀後に、一日早くクリスマス・ティー・パーティーが開催された。コロナ禍のため何年かでもこのような会食を中止してきたものの、例年のような規模ではなかったものの、ささやかでもこのような祝賀を行うことが出来たことは、主の摂理と受け留めて、改めて感謝したい。長司祭ダヴィド水口神父の挨拶、アキラ笹川執事長の乾杯で始まり、ティー・パーティーということでアルコール類は出なかったが、サンドイッチと婦人会が用意したコーヒード、紅茶などで軽食を

取った後、余興も行われた。司会はニコライ本多兄。最初に水口神父によるクリスマスに因んだクイズが出され、正解数別にプレゼントが配られた。それからステファン高橋兄のアコーディオン演奏、イオアン高橋兄のマジックショー、ニコライ山田兄のギター伴奏による合唱、そして聖歌隊による歌の時間。サンタクロースも約束どおりやって来た。

その日の夕方5時から、降誕祭徹夜祈祷が行われ、祈祷後には参拝者にきぼう園特製のクッキーと神父作成のクリスマスカードが配られた。

# 白河正教会だより

12月2日(土)、3日(日)にかけてダヴィッド水口神父が白河正教会を巡回し、白河聖堂の堂祭である生神女進堂祭を一日早めて御祝いした。また祈祷の前には、金沢大学の学生が一人、白河聖堂のイコノスタスを研修対象にしたいということで来白し、水口神父が一つ一つのイコンのテーマや特徴について説明を行った。

3日の祭日聖体礼儀の後、昼食後の勉強会として、イコノスタスのイコンの中で数点をピックアップしたお話がなされた。白河のイコノスタスのイコンには珍しいものが多くバラエティに富んでいる。中でも「会話(Becada)のイコン」と呼ばれる生神女マリヤと奇跡者聖ニコライが、教会管



理人ゲオルギイと話ししているテンペラのイコンは注目に値する。

# 中新田正教会だより

## 降誕祭

中新田正教会ではスケジュールの関係で一足早く降誕祭の奉神礼が行われ、12月16日(土)の夕方5時より祭日前晩祷が執り行われた。晩堂大課につづいてリテイアの祈りをし、五餅の

祝福が行われた。

祈祷後、コロナ禍のために中止していた祝賀会もささやかながら開催され、22名の参加者でクリスマスを祝った。会の中で、水口神父よりクリスマスにちなんだクイズが7問も出され、かなり難しいと思われたものの、全問正解の方も数名おられ、ちゃんと司祭の説教に耳を傾けているお方がおられる証となった。

翌17日(日)には降誕祭の聖体礼儀を行った。また祈祷後、一年祭を迎えたオリガ村山姉とアンナ佐藤姉のパニヒダも行われた。



加美町社会福祉協議会に教会として長年に亘って寄付を行ってきたことに対して、感謝状が贈られた。



1月聖名日  
モレーベンのご案内  
1月14日(日) 聖体礼儀後

今月の聖名日モレーベンは都合により第二日曜日に行います。



▲克肖女聖メラニヤ



▲聖ユリアニヤ

	聖名	氏名(敬称略)
1/1	ボニファティ (タルスの聖致命者)	鈴木勇司
1/4	アナスタシヤ (聖致命女解繫者)	山田三穂子、増子陽子
1/9	聖使徒聖致命者首輔祭ステファン	板橋勝一郎、後藤邦彦 今野芳明、高橋嘉彦
1/14	聖王ダヴィド【旧曆降誕祭後の主日】	水口優明神父、木村史之、若松亮一、 小堀一成
1/12	アニシヤ (ソルンの聖致命女)	横山夏実
1/13	メラニヤ (ロマの克肖女)	熊谷順子
1/14	聖大ワシリイ	伊藤亮介、大場 貴、鈴木孝治
1/15	ユリアニヤ (ラザレフスク)	鈴木一子
1/20	前駆授洗イオアン (会聚祭)	大立目謙朗、佐々木一志、山田義樹 清水 格
1/21	カルテリイ (神品致命者)	横山一平
1/25	タチアナ (ロマの聖致命女)	飯塚順子、遠藤好恵、菅原加奈 恩田貴子、寺嶋タチアナ
1/27	ニーナ (グルジアの教化者使徒聖女)	遠藤真理子、石山菜美、葛西いづみ 勝又冨、木村仁美、今野未来、松原ミエ 鈴木えみ子、太田さつ子

消 息

・永眠  
十二月二十日  
マトフエイ横山 毅 兄 (91歳)  
永遠の記憶【仙台正教会】



婦人会・方舟会より  
○1月7日(日)祈禱後にクリスマスイルミネーションツリーの片づけ作業を行います。皆様のご奉仕をお願いします。  
○1月14日(日) 婦人会新年会  
会費千円 申込はナネジダ清水会長まで

二十歳のモレーベン  
2024年1月14日(日)  
聖体礼儀の後、聖名祭と併せて二十歳の「成人年齢が変更になったため、名称を二十歳の」に変更しました。感謝祈禱を行います。

※該当の方は  
仙台教会まで  
お知らせください。

# 執事会報告

令和五年12月5日(火)

14時〜15時10分 3階会議室

## 一、報告事項

・セラフイム府主教座下の荷物の引越および部屋のクリーニングが行われた。すでに生活の拠点は東京に移られた。

また、主教室および司祭室のトイレの配管接合部分から、わずかに水漏れしているのが発見されたので速やかに修繕を行う。

主教用祭服を保管する専用のタンスを東京の座下に贈ることにした。

・代表役員として水口神父が任命された(11月21日付)。法務局に変更の登記手続きを行う(後日、完了)。

・エレベーターの残りの工事が行われた。なお保全点検料が値上がりし、契約を再更新した。

・フォーバルによるセキュリティ・ハブのリニューアルが行われた(契約を再更新。ほんの少しだけ値上がりした)。

・消防署による立入調査が行われた(11月17日)。すべて良好との返答。

## ・会計報告 収益

12月よりリメイク着物が再開し、新たに貸室契約を交わした。

## (1) 降誕祭について

クリスマス・ティー・パーティーの準備が進められている。方舟会による会場設営(当日の朝)、会の進行や余興も練られている。

## (2) 成人式について

仙台市では名称が「私たちの集い」に変更されているので、教会もこれにならい、「二十歳のモレーベン」とする。

## (3) 主の洗礼祭・大聖水式

聖水汲みの方法について、昨年と同様、柄杓は使用せず、サーバーを使って一人ずつ容器に入れる。

## 献金報告 (5.11.27〜5.12.25)

○聖堂献金 五万二千百三十三円

○感謝献金

佐藤慶一

小野不三江(静岡)

山田喜美雄(聖名祭)

高橋文彦(聖名祭)

○会報献金

八文字積子

横山美貴子

○降誕祭献金

木村幸子(東京)

木村良治、本多弘子・真敏、入野武彦、東海林としえ(東京)、土田定克、山田喜美雄、山村清子、高橋昌



文、岡崎たい子、横山毅

高橋聡樹

鈴木三千代、鈴木えみ子、本多弘明

平塚裕・郁子、平塚喜美子、服部幸枝、八文字積子、大立目謙直、太田ち

え子、村井恵子、増子陽子、清水格・

彩子、水口敦子、勝又禮子、山本理恵

子、山田弘子、山中由美、山寺しち

よ、笹川皓、笹川純子、佐藤幾久子、

高橋清太、高橋英俊、古田直子、熊谷

道子、熊谷経光、加藤進、岡多喜子、

横山望、遠藤正義、永沢正輝、永元道

子、岡部齒科、熊谷天津子、千葉温、

内海エレナ

菅原きみ子・伸幸

鈴木和夫、平塚清、渡辺幸子、大立

目潤子、大泉巖、太田信、西海枝康

子、若松亮一、笹川久美、佐藤明彦、

高橋哲郎輔祭、高橋紀武、高橋ゆり、

及川聡子、恩田修、岡崎文子、横山美

貴子、伊藤治男、伊藤光子、コマロ

フ・セルギイ、千葉真貴、永元亜紀

子、佐々木隆、高橋嘉彦

遊佐なみ子、渡辺ひろ子、山田恵津

子、高橋文彦、権藤順子、吉田光一

○パニヒダ献金

勝又禮子

遊佐なみ子、本多弘明、四津純、

笹川皓、永元道子、佐治美智子

飯塚順子、佐藤明彦、高橋紀武、

古田直子、岡崎雄俊

# 1月行事・奉事予定



1日(月) 新年の感謝祈禱 (深夜0時)  
 新年の感謝祈禱 (午前11時)

6日(土) 徹夜禱はお休みです 第6調  
 7日(日) 第31主日代式祈禱 (10時30分)

書札 コロサイ 3:4・11  
 福音 ルカ 17:12・19

【第29主日分】

※クリスマス・ツリー片付け

6〜7日 水口神父白河正教会出張

6日(土) 18時 降誕祭徹夜禱  
 7日(日) 10時 主の降誕祭聖体礼儀

9日(火) 定例執事会 (14時〜)

13日(土) 主日祭日徹夜禱第7調 (17時)  
 14日(日) 主の割礼祭・聖大ワシリイ祭

書札 コロサイ 2:8・12  
 福音 ルカ 2:20・21、40・52

- ▼聖名日・二十歳モレーベン
- 月例パニヒダ
- ◎婦人会(新年会)・方舟会

14日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)

20日(土) 祭日徹夜禱 祭日調 (17時)  
 21日(日) 神現祭聖体礼儀 (10時)

書札 テイト 2:11・14、3:4・7  
 福音 マトフェイ 3:13・17



今年神現祭を二日ずらして1月21日(日)にお祝いします。神現祭の聖体礼儀に引き続き大聖水式を行います。各自、専用の聖水器をご持参の上、ご参禱ください。

26〜27日 水口神父中新田正教会出張

26日(金) 16時 勉強会/17時 前晩禱  
 27日(土) 10時 主日聖体礼儀

大聖水式・月例パニヒダ

27日(土) 主日徹夜禱 第1調 (17時)  
 28日(日) 神現祭後の主日聖体礼儀 (10時)

書札 エフェス 4:7・13  
 福音 マトフェイ 4:12・17

- ◎ミニ講話
- 聖堂清掃奉仕の日

セラフイム府主教座下は生活の拠点を東京に移されました。郵便物その他は、東京(ニコライ堂)にお送りくださるようお願いいたします。

## 2024年のスケジュールについて

- ・基本的に白河正教会への巡回を第一日曜日とする(その日、仙台では代式祈禱)
- ・基本的に中新田正教会への巡回を第四土曜日とする(月によっては第五日曜日)
- ・第五日曜日の司祭不在日は代式もお休み
- ・基本的に月例パニヒダは第二日曜日
- ・基本的に聖名日モレーベンは第三日曜日
- ・執事会を第一火曜日開催とする
- ・方舟会と婦人会は、第二日曜日、または第三日曜日(月によって異なる)
- ・ミニ講話は、臨機応変に組み入れる

1月の集会は以下のように予定いたします。

- 【婦人会・方舟会】→14日
- 【ミニ講話】→28日
- 【聖堂清掃奉仕】→28日
- 【教会学校】→随時
- 【聖歌隊練習日】→7日(日)、21日(日)
- 【伝道会】17日(水)、24日(水)、31日(水)、  
 (3日)と10日(水)は都合によりお休み



※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なくお申し出ください。